

Miyashin

みやしん半期開示ディスクロージャー
Disclosure 2017.9



 宮崎信用金庫

みやざき犬使用許可第280126号

預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

	平成28年9月	平成29年3月	平成29年9月
預 金	82,690	82,643	84,012
貸 出 金	54,128	55,340	56,090

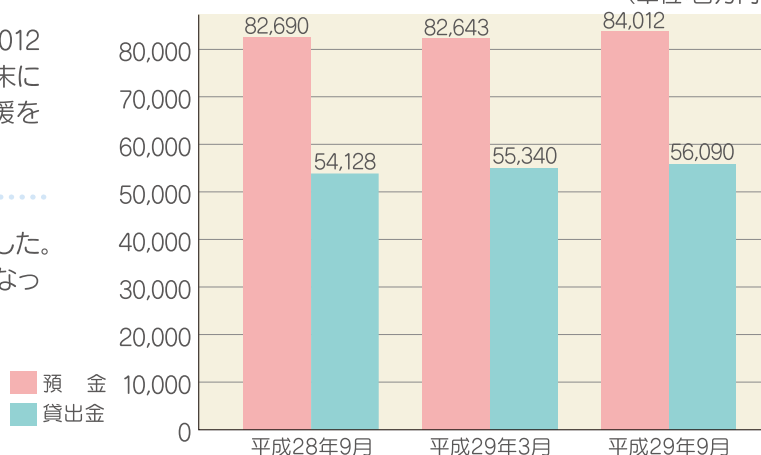
(単位:百万円)

預 金

預金の平成29年9月末残高は84,012百万円となりました。平成29年3月末に比べ、1.65%増とお客さまのご支援を得て順調に推移しております。

貸出金

貸出金は56,090百万円となりました。平成29年3月末に比べ、1.35%増となっております。



貸出金の内訳

平成29年9月末現在の業種別貸出金の状況は下表のとおりです。全体の約25%が個人のお客さまで、他業種別では、不動産業、建設業、卸売業・小売業の順になっております。これからも、地元のお客さまのニーズにお応えできるよう努めてまいります。

(単位:百万円、%)

区 分	平成28年9月		平成29年3月		平成29年9月	
	残 高	構成比	残 高	構成比	残 高	構成比
製 造 業	346	0.63	357	0.64	326	0.58
農 業、林 業	169	0.31	166	0.29	167	0.29
漁 業	-	-	2	0.00	1	0.00
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-
建 設 業	1,470	2.71	1,529	2.76	1,581	2.81
電気・ガス・熱供給・水道業	32	0.05	33	0.05	28	0.04
情 報 通 信 業	96	0.17	96	0.17	85	0.15
運 輸 業、郵 便 業	372	0.68	432	0.78	413	0.73
卸 売 業、小 売 業	1,574	2.90	1,550	2.80	1,519	2.70
金 融 業、保 険 業	860	1.58	425	0.76	647	1.15
不 動 産 業	23,475	43.36	25,101	45.36	25,956	46.27
物 品 賃 貸 業	53	0.09	49	0.08	46	0.08
学術研究、専門・技術サービス業	202	0.37	311	0.56	399	0.71
宿 泊 業	547	1.01	529	0.95	533	0.95
飲 食 業	1,277	2.35	1,272	2.29	1,228	2.18
生活関連サービス業、娯楽業	1,034	1.91	1,005	1.81	974	1.73
教 育、学 習 支 援 業	147	0.27	139	0.25	132	0.23
医 療、福 祉	88	0.16	87	0.15	93	0.16
そ の 他 の サ ー ビ ス	516	0.95	501	0.90	481	0.85
小 計	32,264	59.60	33,593	60.70	34,619	61.72
地 方 公 共 団 体	7,595	14.03	7,581	13.69	7,341	13.08
個 人	14,268	26.35	14,166	25.59	14,130	25.19
合 計	54,128	100.00	55,340	100.00	56,090	100.00

有価証券の時価情報

有価証券の運用は、金融機関にとって重要な資金運用方法のひとつです。みやしんでは、安全性・収益性・流動性を重視しながら、特定の銘柄に偏らない分散投資に努めております。また、毎月開催するリスク管理委員会において、有価証券に係るリスク管理の充実、運用の向上に努めております。

■その他有価証券の評価差額の状況

(単位:百万円)

区 分	平成29年3月					平成29年9月				
	取得原価	貸借対照表計上額	差 額	うち益	うち損	取得原価	貸借対照表計上額	差 額	うち益	うち損
債 券	3,219	3,270	50	51	0	2,601	2,642	40	40	0
株 式	18	18	0	0	0	18	18	0	0	0
そ の 他	543	521	△22	6	28	537	532	△4	9	14
合 計	3,780	3,809	28	57	28	3,157	3,193	36	50	14

■満期保有目的の債券および子会社・関連会社の含み損益の状況 該当ございません。

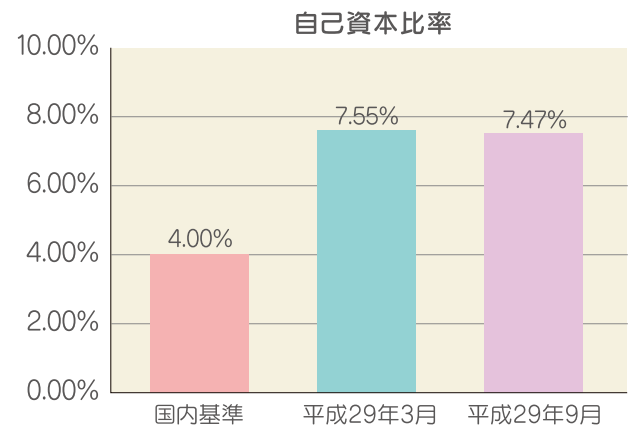
■売買目的有価証券 該当ございません。

単体自己資本比率(国内基準)

平成29年9月期における当金庫の自己資本比率は7.47%となりました。国内基準4.00%を大きく上回っております。

(単位:百万円、%)

	国内基準	平成29年3月	平成29年9月
自己資本比率	4.00%	7.55%	7.47%
自己資本額		3,348	3,400
コア資本に係る基礎項目の額		3,356	3,410
コア資本に係る調整項目の額		7	9
リスク・アセット		44,343	45,484
総所要自己資本額 (リスク・アセット×4%)		1,773	1,819



損益の状況

平成29年9月期における当金庫の損益の状況は、以下の通りであります。

(単位:百万円)

	平成29年9月
業 務 純 益	53
経 常 利 益	54
当 期 純 利 益	52



女性渉外

金融再生法開示債権保全状況

みやしんは、健全経営を目指す観点から、不良債権処理を最重要課題と捉え、積極的に取り組んでおります。

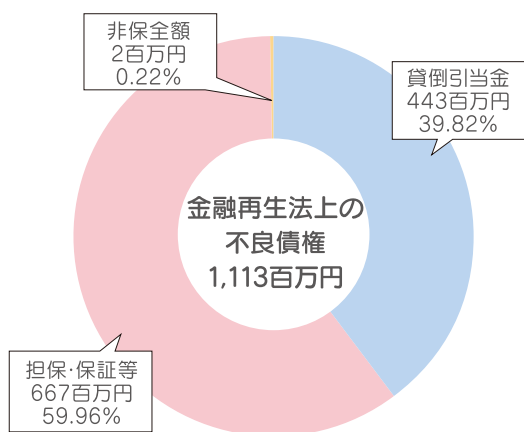
金融再生法開示債権保全状況

(単位:百万円)

	平成29年3月	平成29年9月	増 減
金融再生法上の不良債権(A)	1,546	1,113	△432
破産更正債権およびこれらに準ずる債権	809	783	△26
危険債権	721	314	△406
要管理債権	14	15	0
保全額(B)	1,541	1,111	△430
貸倒引当金(C)	465	443	△22
担保・保証等(D)	1,075	667	△407
保全率(B)/(A)(%)	99.67%	99.78%	0.11%
担保・保証等控除後債権に対する引当率 (C)/((A)-(D)) (%)	98.93%	99.46%	0.53%
正常債権	53,895	55,080	1,185
不良債権比率(%)	2.79%	1.98%	△0.81%

(注)貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

1. 「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。



当金庫の不良債権の状況をグラフ化すると、左図のようになります。

不良債権1,113百万円に対し、保全状況は1,111百万円(担保・保証額667百万円、貸倒引当金443百万円)保全率は99.78%であり、「保全は万全」です。



本店



吉村支店

文化・社会貢献活動

◆社会貢献の日

みやしんでは、毎月第2木曜日に「社会貢献の日」を実施しています。当日は、役職員が一人200円ずつを1年間積立て、その総額に金庫拠出金をプラスして、地域社会に役立てています。

当金庫は、毎年6月15日の「信用金庫の日」に福祉施設等への寄贈をしています。本年は、宮崎市と西都市の6つの施設に寄付金を贈呈しました。この寄贈も本年で22回目を迎えました。



■みやしん経営塾

(中小企業経営者の経営相談・情報提供・異業種交流)



地域で開催されるイベントにも積極的に参加しています。

■宮崎市民総踊り



■献血活動



■江平子安観音大祭



■しんきんチャリティーウォーク



■西都夏まつり



